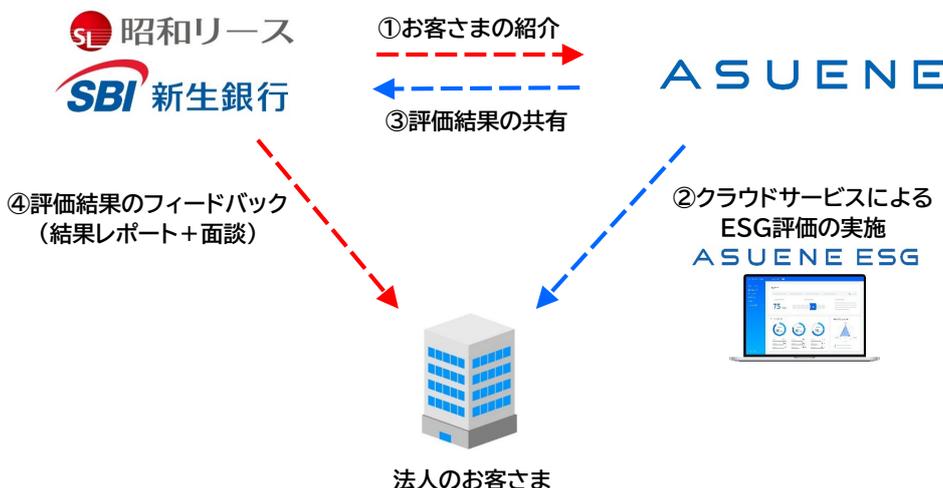


2024年4月26日

各位

株式会社 SBI 新生銀行
昭和リース株式会社**SBI 新生銀行グループとアスエネが企業の ESG 評価に関する新サービスを提供開始
～非上場/中小・中堅企業のサステナビリティ/ESG 経営の可視化・改善を支援～**

株式会社 SBI 新生銀行(本店:東京都中央区、代表取締役社長:川島 克哉、以下「SBI 新生銀行」)、およびグループ会社である昭和リース株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:平野 昇一、以下「昭和リース」)は、アスエネ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 CEO:西和田 浩平、以下「アスエネ」)との間で業務提携契約を締結し、法人のお客さまを対象としたサステナビリティ/ESG 対応状況の評価サービス「ESG 対応評価ライト」の提供を開始しましたのでお知らせいたします。

<「ESG 対応評価ライト」のサービスイメージ>

近年、気候変動、人権問題、労働条件などの環境・社会への影響に配慮した投融資やビジネス活動がますます重要視されるようになってきました。SBI 新生銀行では、事業法人や地域金融機関のお客さまに対して、サステナブルファイナンスやインパクトファイナンスの提供で培った知見・ノウハウを活かし、サステナビリティ/ESG 経営の推進に向けたアドバイザリーサービスや各種ソリューションを提供しています。

新たにラインナップに追加した「ESG 対応評価ライト」は、アスエネが運営する持続的なサプライチェーン調達の ESG 評価サービス「ASUENE ESG」と連携し、同社と SBI 新生銀行が協働して開発したサービスです。お客さまがクラウドシステム上で ESG 対応に関する質問への回答を行うと、約 1 ヶ月という短期間で「ASUENE ESG」による ESG 評価と、SBI 新生銀行のサステナブルインパクト評価室による評価結果フィードバックを受けていただくことが可能となります。これにより、事業規模や業種を問わず、お客さまのサステナビリティ/ESG の対応状況の可視化や今後の改善に向けた支援を実施します。

業務提携内容

- アスエネは、企業の ESG への取り組み状況を可視化するクラウドサービスである「ASUENE ESG」を通じて、企業のサステナビリティ/ESG への対応状況の可視化や優先度の高い課題やリスクの特定を支援します。
- SBI 新生銀行と昭和リースは、特に非上場/中小・中堅企業に「ASUENE ESG」を紹介することにより、クイックな ESG 評価サービスを提供します。また、評価結果を踏まえ、ステークホルダーから期待されるサステナビリティ/ESG のお取り組みの課題改善に向けた継続的な支援を実施します。

SBI 新生銀行グループは、環境・社会の課題解決に取り組まれる法人や個人のお客さまに対して、金融機能を通じた支援を行っております。中期経営計画「SBI 新生銀行グループの中期ビジョン」において「環境・社会課題解決へ向けた金融機能提供」を掲げており、本件はその具体的な取り組みのひとつです。今後も、引き続きお客さまのサステナビリティ課題に対する積極的な取り組みを通じて、お客さまとともにより良い未来の創造を目指してまいります。

【株式会社 SBI 新生銀行】

| | |
|-----|-----------------------------|
| 代表者 | 代表取締役社長 川島 克哉 |
| 所在地 | 東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル |

【昭和リース株式会社】

| | |
|-----|-----------------------------|
| 代表者 | 代表取締役社長 平野 昇一 |
| 所在地 | 東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル |

【アスエネ株式会社】

| | |
|---------|---|
| 代表者 | 代表取締役 CEO 西和田 浩平 |
| 所在地 | 東京都港区虎ノ門 1-10-5 KDX 虎ノ門一丁目ビル WeWork 4 階 |
| WEB サイト | https://earthene.com/corporate/ |

以 上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp